

地域と連携した 日本文理大学の取り組み —なぜ地方私立大学が必要なのか—



日本文理大学COC事業
おおいた、つくりびと

日本文理大学
副学長・工学部 教授
吉村 充功



日本文理大学の概要



NBU 日本文理大学

建学の精神

教育理念

産学一致

人間力の育成

社会・地域貢献

■ 学部・学科

【工学部】

- ⇒ [航空宇宙工学科](#)
- ⇒ [機械電気工学科](#)
- ⇒ [情報メディア学科](#)
- ⇒ [建築学科](#)

【経営経済学部】

- ⇒ [経営経済学科](#)
 - [地域マネジメントコース](#)
 - [ビジネスソリューションコース](#)
 - [会計ファイナンスコース](#)
 - [スポーツビジネスコース](#)
 - [こども・福祉マネジメントコース](#)

- 1967年創立
- 前身は「大分工業大学」
- 1982年より現在の校名に
- 2023年「保健医療学部」開設

保健医療学部

2023年4月 開設

診療放射線学コース／臨床検査学コース／臨床医工学コース

保健医療学科

診療放射線学コース

〔診療放射線技師養成〕

臨床検査学コース

〔臨床検査技師養成〕

臨床医工学コース

〔臨床工学技士養成〕



建学の精神・教育理念・教育改革の概要

建学の精神「産学一致」

産学一致

時代の変化を捉え、柔軟な発想で、課題解決のできる人材を育成

2007年
(40周年)に
教育理念を
再編
人間力教育
を宣言！

教育理念

人間力の育成

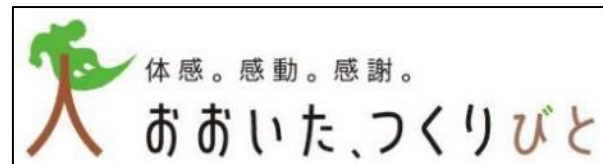
社会や人との関わりの中から、新しい可能性を創造し、挑戦を続ける人材を育成

社会・地域貢献

常に社会・地域とのつながりを意識して、主体的に行動できる人材を育成

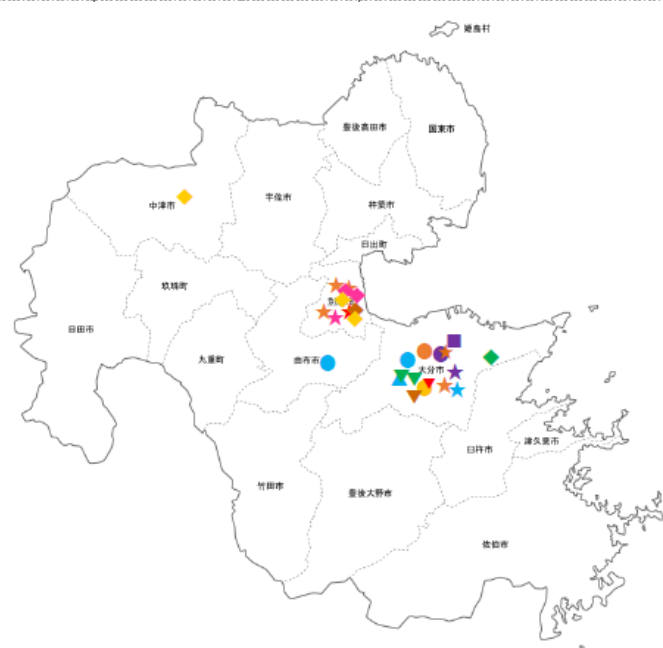
大学COC事業の採択

- “人間力” 教育から
“地域創生人” の育成へ
- 文科省 地（知）の拠点
整備事業に2014年採択
- 取組テーマ：
豊かな心と専門的課題
解決力を持つおおいた
地域創生人材の育成
- この教育改革が
本学の現在の教育基盤



● 地域産業に関する基礎データ

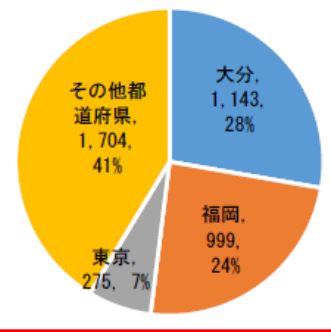
県庁所在地	大分市		事業所数	卸売業、小売業	
人口	1,107	(単位: 1000人)		12,606	
人口シェア	0.9%			宿泊業、飲食サービス業	
5年間人口増減	-45	(単位: 1000人)		6,336	
名目GDP	4,683,887	(単位: 100万円)		建設業	
GDPシェア	0.8%		従事者数	医療、福祉	
有効求人倍率	1.05	(R3年4月実数)		卸売業、小売業	
平均賃金	4152.7	(単位: 1000円)		製造業	
				68,567	



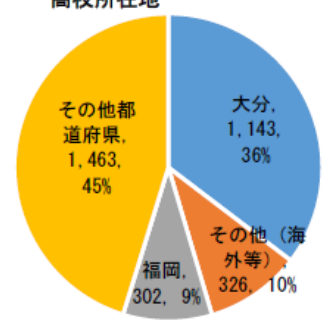
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【2023】	9,861		
高校等卒業者数【2023】	9,349		
大学進学率【2023】	41.8%		
大学進学率(国公私別)【2023】	13.7%	4.6%	23.4%
短大進学率【2023】	7.3%		
専門学校進学率(現役)【2023】	18.6%		
大学数【2023】	5		
大学数(国公私別)【2023】	1	1	3
入学定員【2023】	3,850		
入学定員(国公私別)【2023】	1,070	80	2,700
大学入学者数【2023】	4,121		
県外から流入【2023】	2,091		
県内から流出【2023】	2,978		
流出入差(流入-流出)【2023】	-887		
自県進学率【2023】	27.7%		
大学進学率推計(合計)【2040】	43.3%		
大学進学率推計(男)【2040】	48.6%		
大学進学率推計(女)【2040】	37.8%		

・都道府県内高卒者の大学進学先



・都道府県内大学入学者の出身高校所在地



● 大学学部に関する基礎データ

【国】大分大学（定員合計：1,070）			
経済学部	●	270	大分市
医学部	●	195	由布市
福祉健康科学部	●	100	大分市
教育学部	●	150	大分市
理工学部	●	355	大分市
【公】大分県立看護科学大学（定員合計：80）			
看護学部	▲	80	大分市
【私】日本文理大学（定員合計：740）			
経営経済学部	★	300	大分市
工学部	★ ★	280	大分市
保健医療学部	★	160	大分市
【私】別府大学（定員合計：490）			
文学部	★ ★	270	別府市
国際経営学部	★	100	別府市
食物栄養科学部	★	120	別府市
【私】立命館アジア太平洋大学（定員合計：1,470）			
アジア太平洋学部	★	510	別府市
サステナビリティ観光学部	★	350	別府市
国際経営学部	★	610	別府市

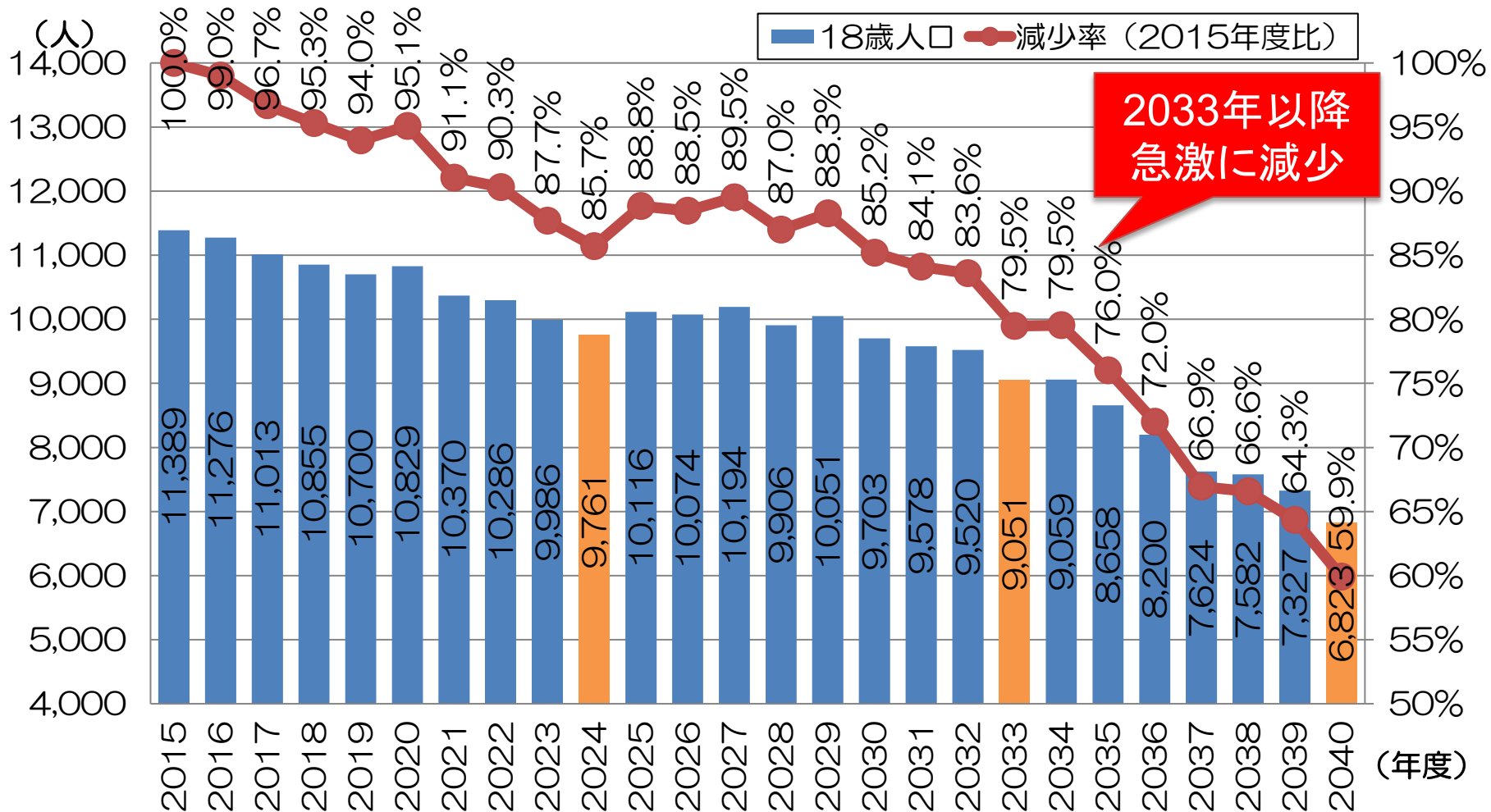
● 短期大学の学科に関する基礎データ

【公】大分県立芸術文化短期大学（定員合計：340）			
情報コミュニケーション学科	▼	100	大分市
美術科	▼	75	大分市
音楽科	▼	65	大分市
国際総合学科	▼	100	大分市
【私】東九州短期大学（定員合計：40）			
幼児教育学科	◆	40	中津市
【私】別府清部学園短期大学（定員合計：200）			
介護福祉学科	◆	30	別府市
食物栄養学科	◆	40	別府市
幼児教育学科	◆	70	別府市
ライフデザイン総合学科	◆	60	別府市
【私】別府大学短期大学部（定員合計：250）			
食物栄養科	◆	50	別府市
初等教育科	◆	200	別府市
【私】大分短期大学（定員合計：40）			
園芸科	◆	40	大分市

● 高等専門学校の学科に関する基礎データ

【国】大分工業高等専門学校（定員合計：160）			
機械工学科	■	40	大分市
電気電子工学科	■	40	大分市
情報工学科	■	40	大分市
都市・環境工学科	■	40	大分市

大分県の18歳人口将来推計推移



県内18歳人口は向こう10年は横ばい。以降は全国・九州を上回るペースで大幅に減少！地域を支える若手が今以上に大幅に不足！！

県内高校生の進路状況 (2024)

NBU 日本文理大学

※順位は都道府県順位

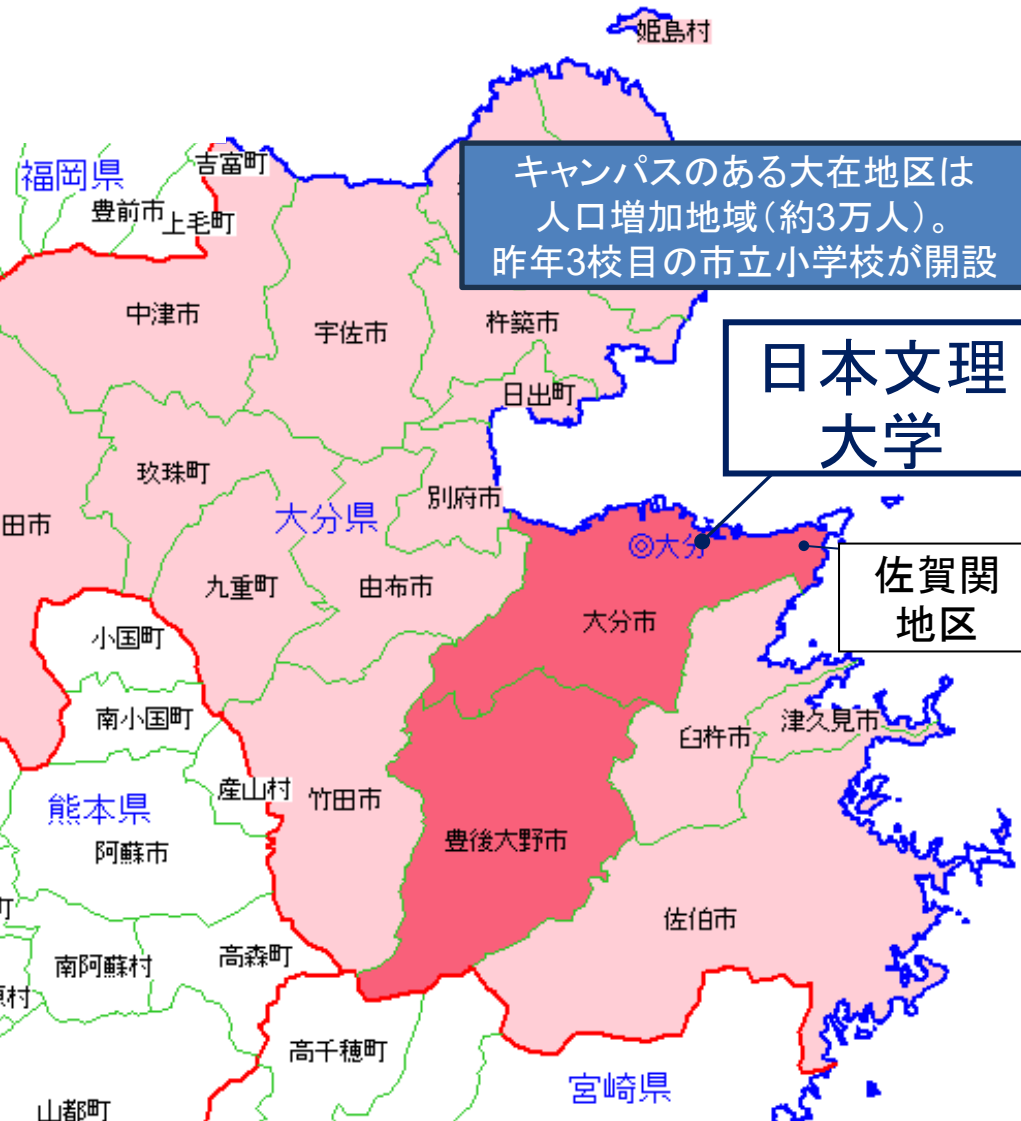
	合計			男			女			広域九州圏9県平均	全国平均
	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位		
卒業生	8,832	—	—	4,470	—	—	4,362	—	—	全体	
										男	
										女	
大学+短大	4,601	52.1%	34	2,151	48.1%	37	2,450	56.2%	32	52.1%	61.9%
										48.4%	60.6%
										55.8%	63.3%
大学進学	3,842	43.5%	44	2,051	45.9%	37	1,791	41.1%	45	46.5%	58.3%
										46.9%	59.6%
										46.0%	56.9%
短大進学	557	6.3%	1	79	1.8%	3	478	11.0%	1	4.0%	3.1%
										1.0%	0.7%
										7.1%	5.5%
専門学校進学	1,570	17.8%	14	610	13.6%	16	960	22.0%	17	18.0%	15.5%
										14.6%	11.8%
										21.4%	19.4%
就職	2,065	23.4%	11	1,338	29.9%	8	727	16.7%	12	20.8%	14.0%
										26.5%	17.5%
										14.9%	10.4%

高度な高等教育を提供する大学・短大への進学は全国平均を大きく下回る状況。
特に大学（4大）進学率は全国最下位グループ（女子は下から3番目）。
進学率の底上げとリカレント教育の整備は大分県の将来にとっても不可欠。

出典:読売新聞(全国教育面)2025.1.14

COC事業の連携自治体・活動地域

現在は「佐伯市」「中津市」とも包括協定締結。活動は全18市町村へ拡大。



連携自治体	2020国勢調査人口	高齢化率
大分県	1,123,852	33.27
大分市	475,614	27.64
豊後大野市	33,695	44.32

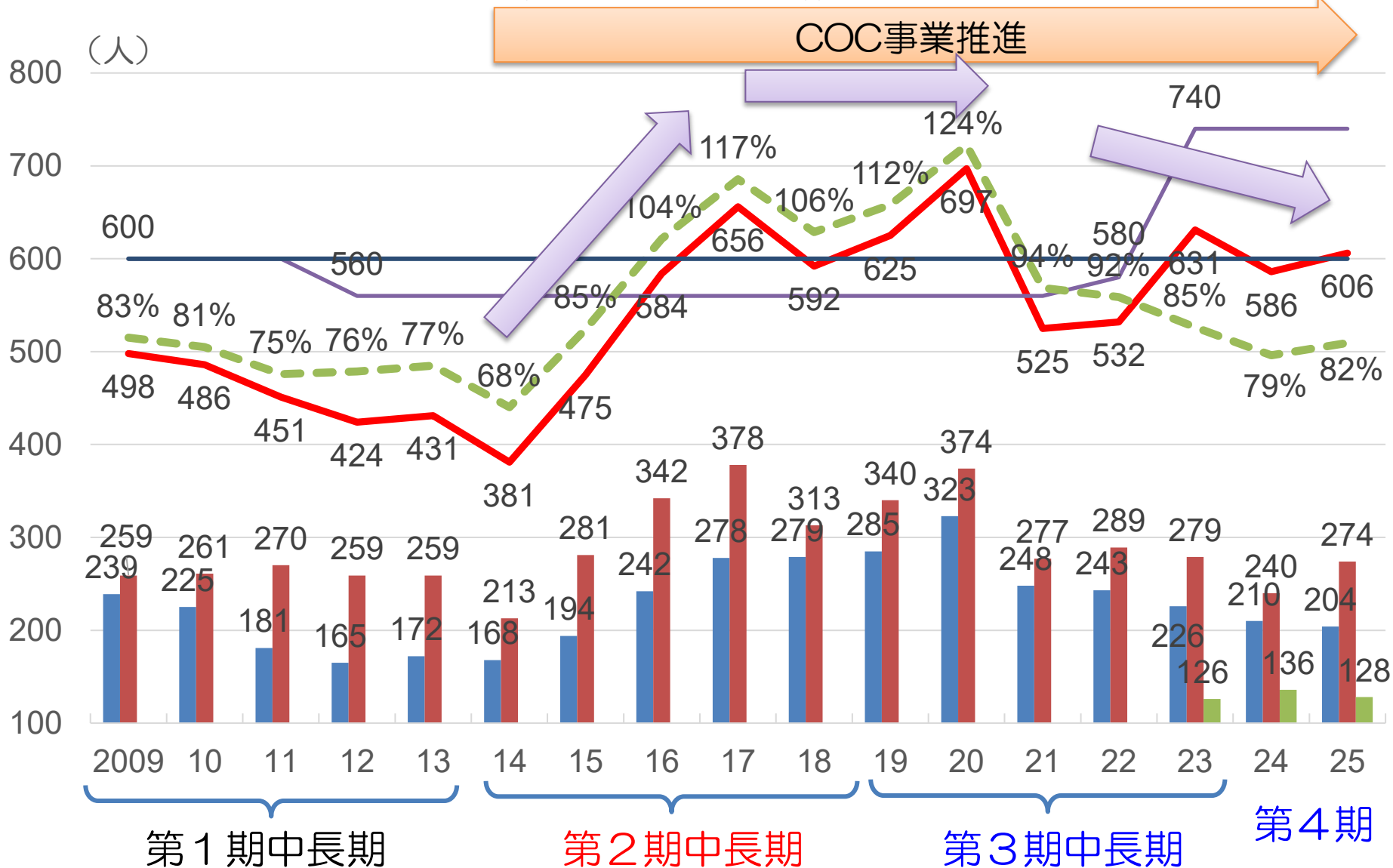
佐賀関地区の人口8,072人、
高齢化率は56.5%

※2020年9月末の数字

少子高齢化が深刻な
地域から積極的に学び
地域を創生

入学者数の推移 (2009-25)

■ 工学部 ■ 経営経済学部 ■ 保健医療学部 ■ 全体 — 入学定員 — 定員充足率 — 100%



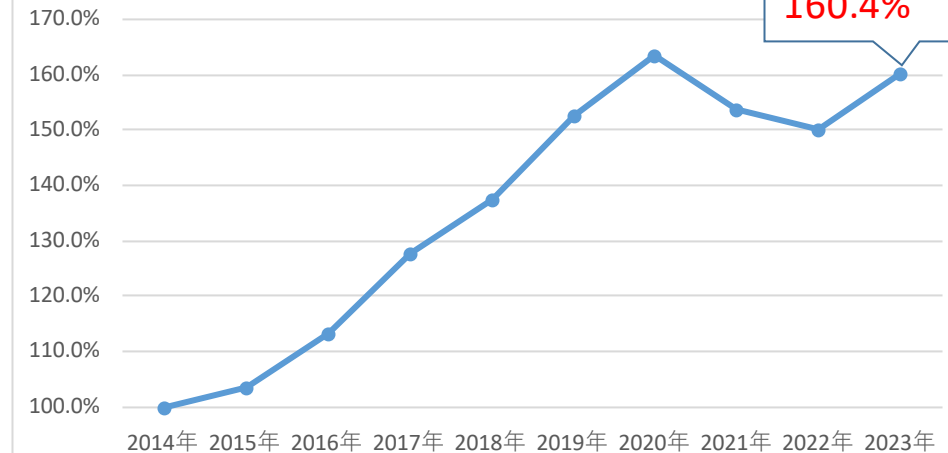
10年の教育改革の成果①「県内入学者」

■ 大分県出身学生総数の推移

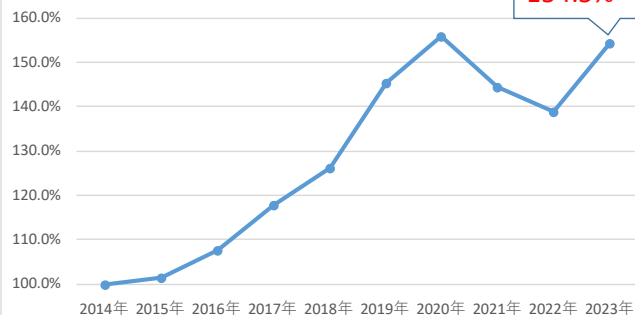
2023年度

- ・大分県出身学生総数推移
2014年対比で**160.4%**
(入学者数では205.5%)
(2023年 県内学生出身者
比率 39.2%)

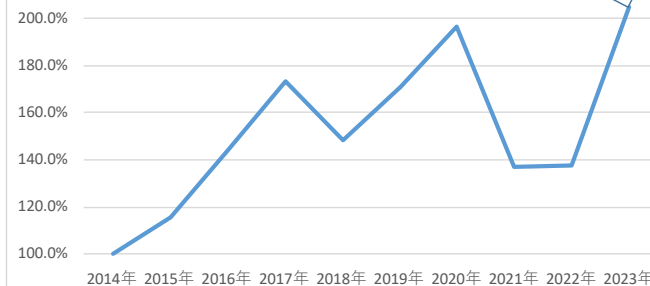
大分県出身学生総数 指数



実家通学生指数



大分県出身入学者 指数

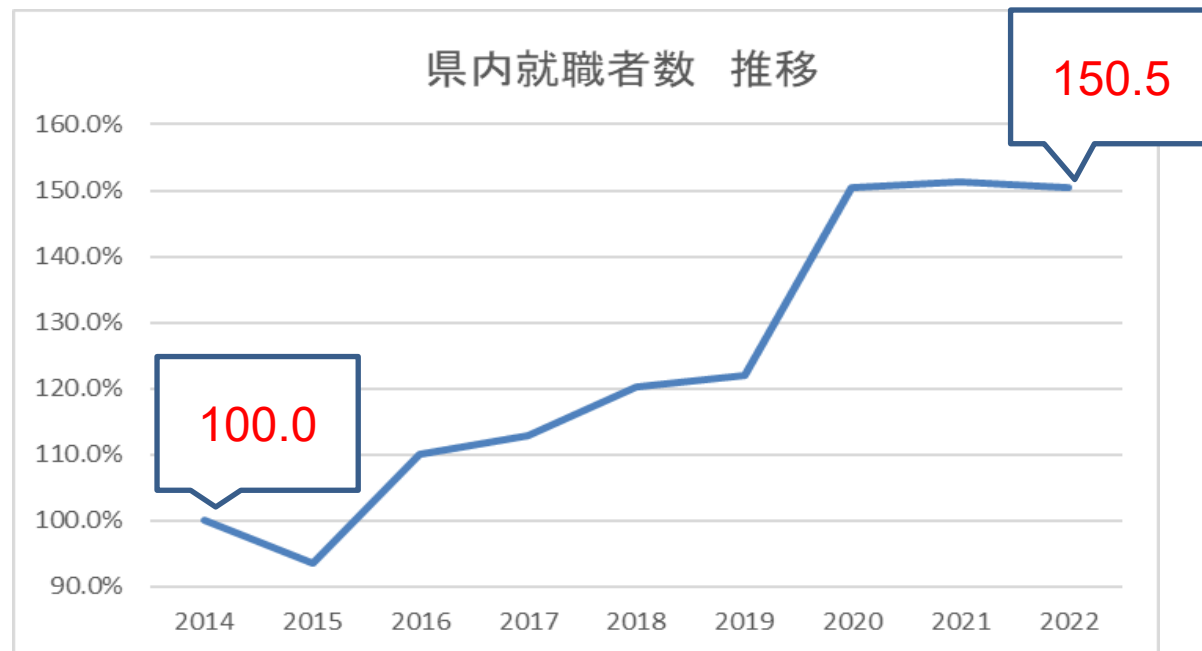


保健医療学部の
開設(2023年)
で大分県出身者
が増加

10年の教育改革の成果②「県内就職者」

2022年度

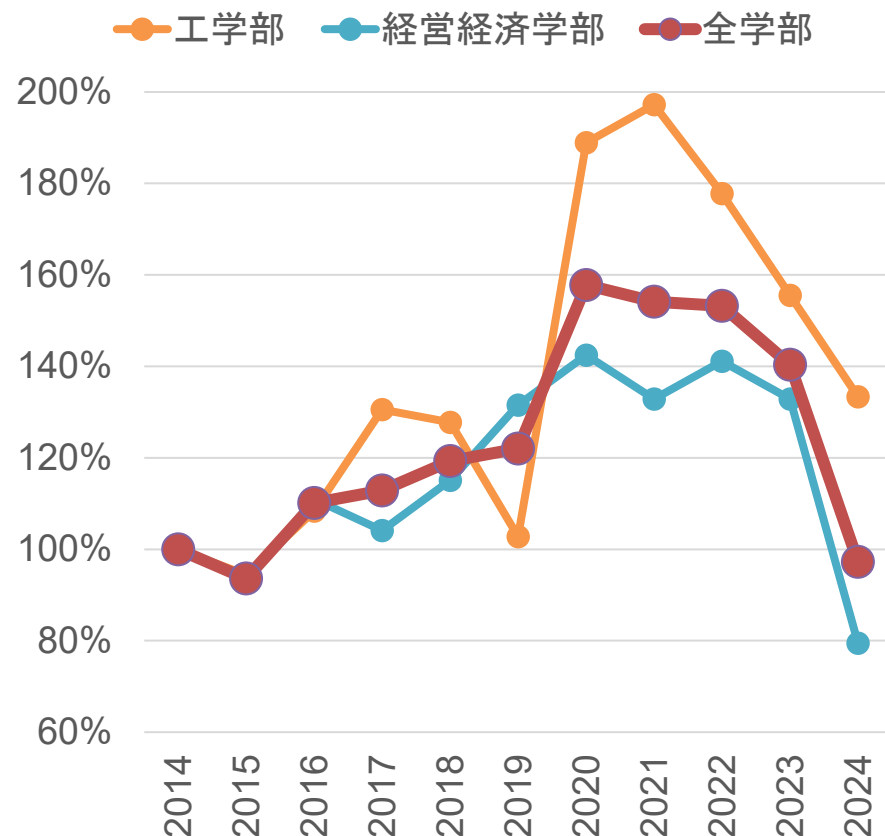
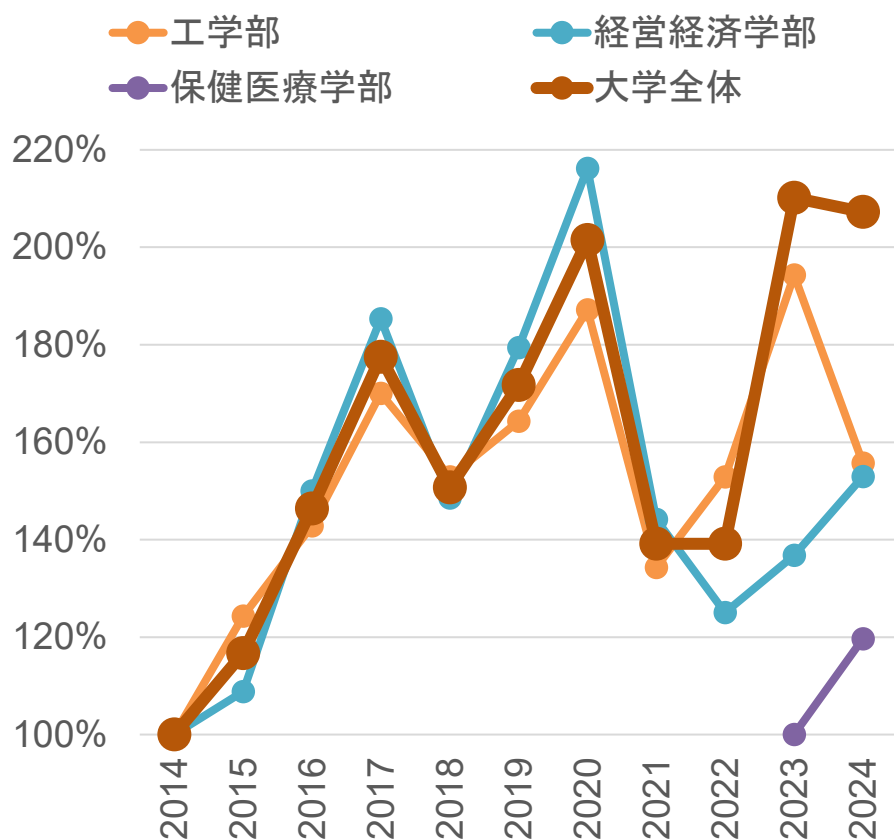
- ・2022年度
県内就職者数
2014年対比で
150.5%



(2014年を100として)

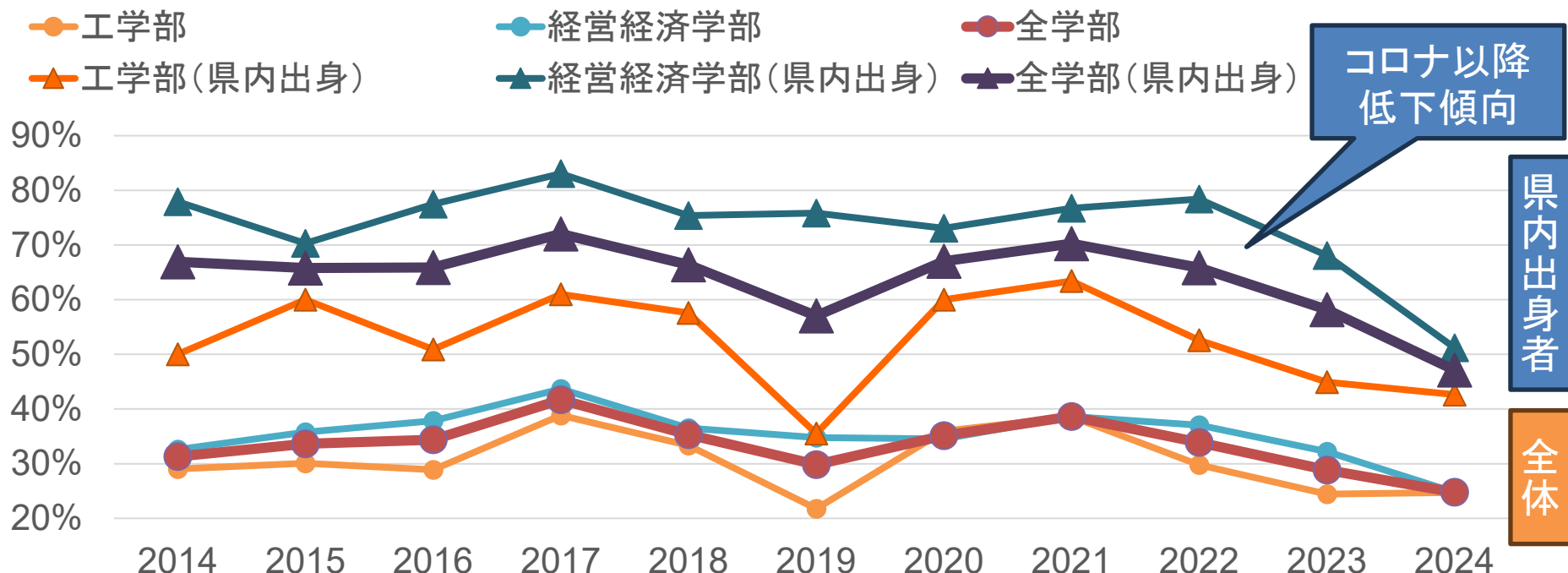
地域に根ざした大学としての10年

県内出身入学生数の推移（2014年比） 県内就職者数の推移（2014年比）



2024年度 修学支援制度受給率：19.2% JASSO奨学金受給率：64.7%
 本学独自の奨学金給付率：76.3%（2024年度入学生）

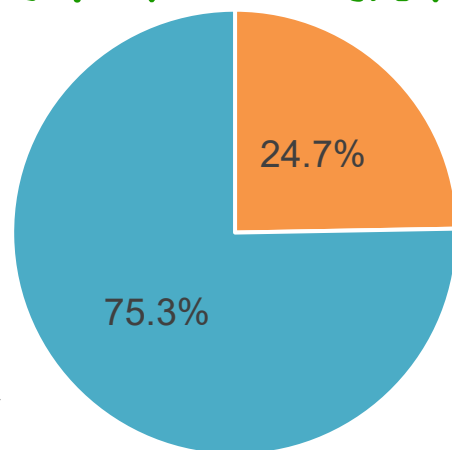
県内就職率の推移



2023年度卒業生の就職状況

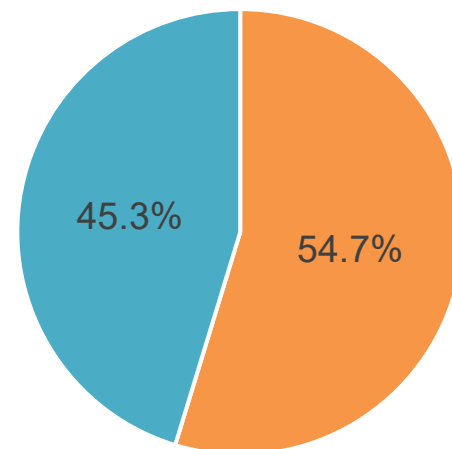
三大都市圏
・それ以外の就職比率

- 三大都市圏
- 三大都市圏以外



出身地・
出身地外の就職比率

- 出身地に戻る
- 出身地に戻らない



採用企業の声

高い倫理感、使命感
と未知の課題にも
挑戦しようとする意欲

コミュニケーション能力
があり、必要な資格も
有していた

謙虚で何事にも
真剣に取り組
組む姿勢

周囲を牽引す
る力、人当たり

協調性や大分県
や地域の方への
貢献意欲

バイタリティ、
行動力、論理
的思考

専門科目の基礎的な
教養、それらを活かして
モノづくりに取り組
む意欲の高さ

社会人としての
今後の伸びしろ

向上心があり
若者ならではの
思考力

真面目で素直、
協調性が高い

自らの考えを持ち、
言語化して伝える
能力が高い

周りからの評判も
良く、常に熱心な
姿勢で学ぶ意欲

仕事や業界に
対する興味や
探求心があった点

入社後の働きぶり等の総合的評価

■ ① 期待以上 ■ ② 期待通り ■ ③ これからの成長に期待 ■ ④ 期待とは異なる ■ ⑤ 期待とは大きく異なる

22%

38%

39%

1%

本学の教育概要

建学の
精神

産学一致

教育理念

人間力の育成

社会・地域貢献

COC(地(知)の拠点: Center Of Community) 大学としての教育研究活動

学部・学科・コース

【工学部】

機械電気工学科
建築学科
航空宇宙工学科
情報メディア学科

【経営経済学部】

ビジネスソリューションコース
地域マネジメントコース
会計ファイナンスコース
スポーツビジネスコース
こども福祉マネジメントコース

【保健医療学部】

診療放射線学コース
臨床検査学コース
臨床医工学コース

各学部
の教育
+ 3 学部
連携
教育
(ものづくり・マネジメント・医療技術)

教養教育

専門教育

地域連携教育

体験交流
(地域)



知識修得
(学内)



課題解決プロジェクト
(地域・学内)



学部混成
ワークショップ

実務家教員による
実践知識

実践型
教育研究

データサイエンス教育

キャリア教育・インターンシップ(企業・行政等
外部との連携・就職サポートプログラム)

正課外教育(NBUチャレンジプログラム・人間
力育成センター(地域活動)・部活動等)

人間力と専門能力、職業能力を兼ね備え、
地域経済社会の発展となる産業人を輩出

プロジェクト

1

小規模・高齢化が深刻な 集落におけるコミュニティ支援



NBU 日本文理大学



豊後大野市大野町土師地区（人口約200人，高齢化率約67%）

1年「大分学・大分楽」

3年「環境・地域創造演習」

1年「プロジェクト1」

1年「森里海連環
学と地球的課題」

2年「データ
解析演習」

2年「流体
生態論」

2年「環境
計画論」



3年「建設マシ M1実習」

正課外活動

3年「地域再生論」

3年「研究ゼミ」

4年「卒業研究」

体験交流活動

知識の修得

課題解決型学修

プロジェクト

3

豊後大野市の地域資源を活かした 観光コミュニティビジネスの開発



豊後大野市…温泉はないが、ジオパーク・エコパークに代表される自然・暮らし・文化を背景にした地域資源は豊富

1年「大分学・大分楽」

1年「森里海連環
学と地球的課題」

2年「社会調査法」

1年「フィールド
ド・スタディⅠ」



2年「観光学
入門」

2年「観光ビ
ジネス論」

2・3年「フィールド
ド・スタディⅡ・Ⅲ」

豊後大野紅葉くらべコースの提案
白山溪谷 → 宝生寺 → 用作公園



3年「地域経営論」

3年「地域
イノベ
ーション論」

2～4年「ゼミナール」



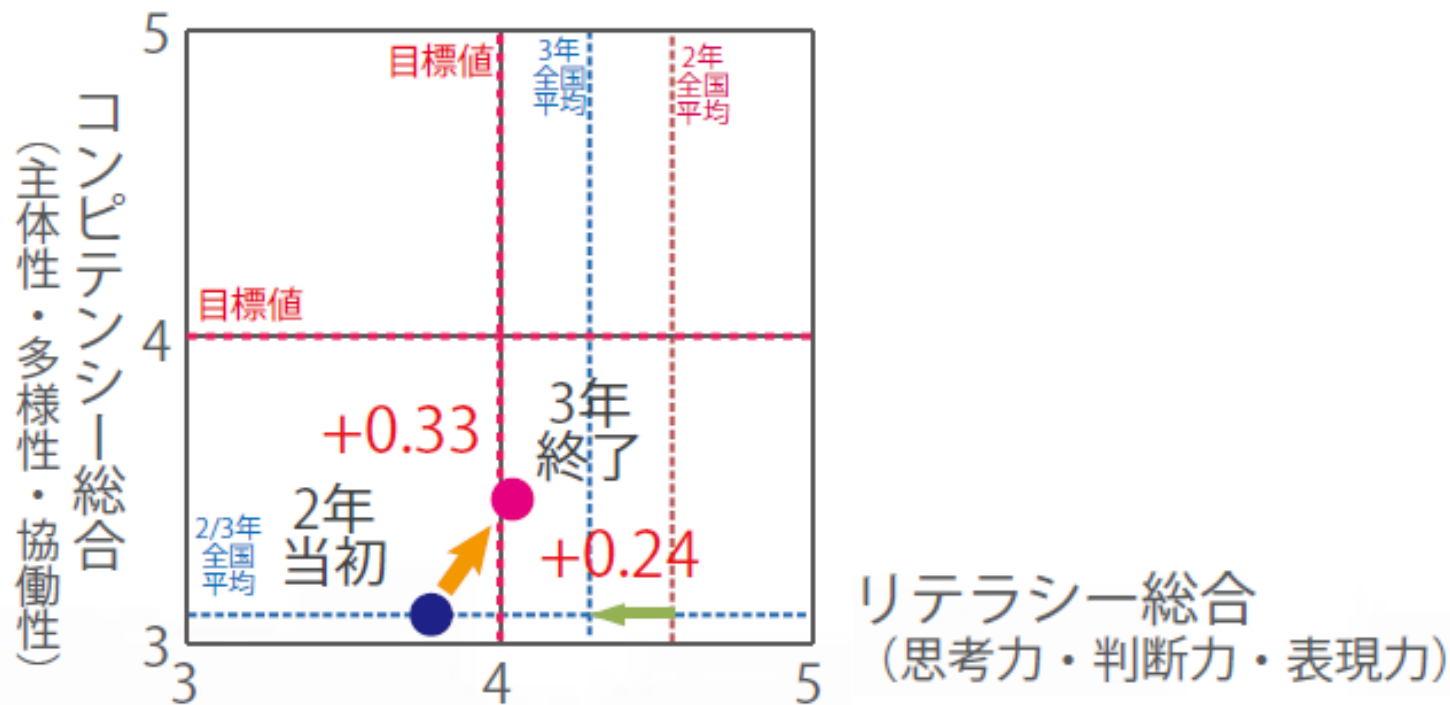
体験交流活動

知識の修得

課題解決型学修

どのような成果が見られたのか？

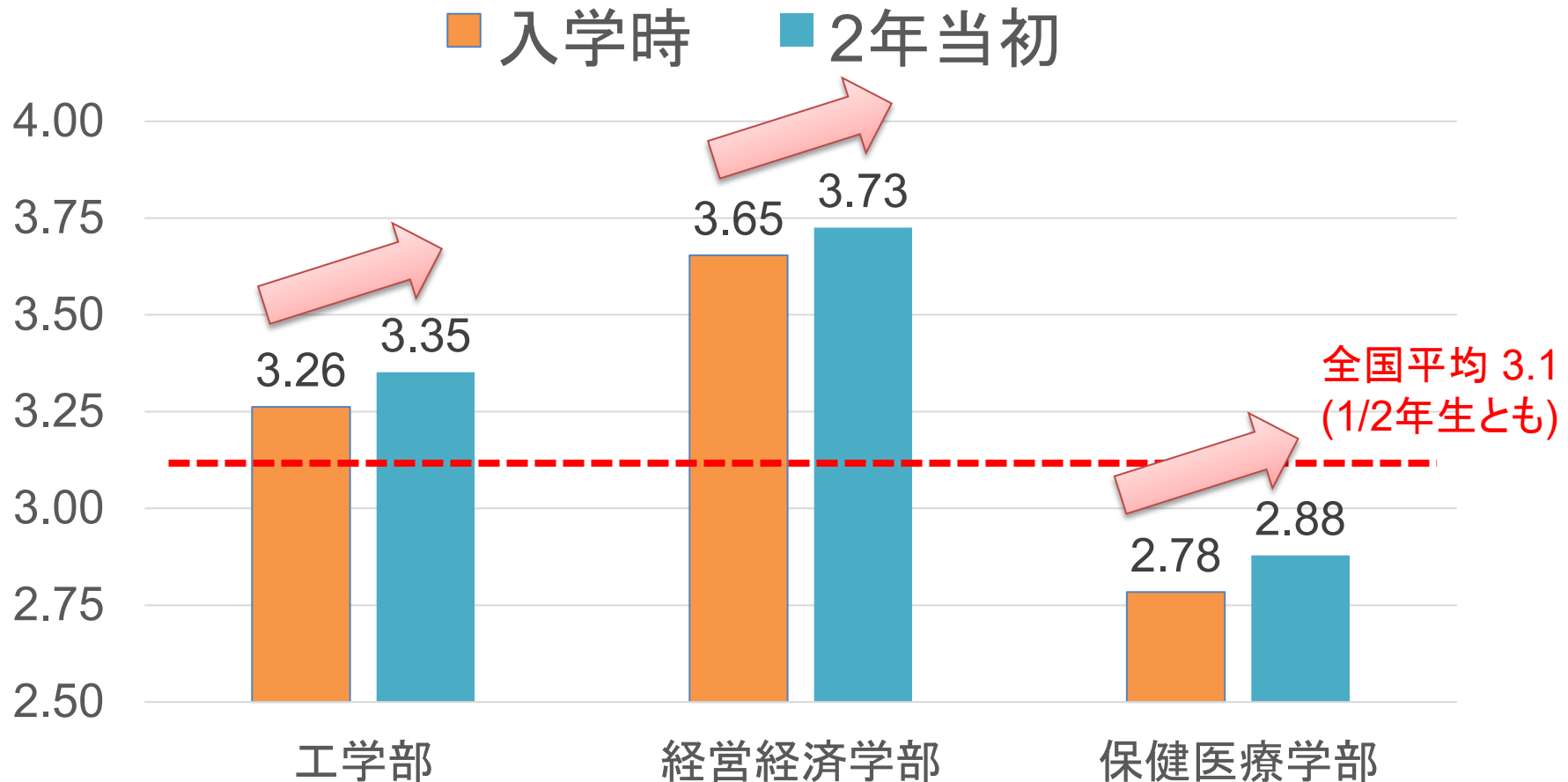
- ✔ ジェネリックスキル（汎用的技能）の成長（現3年生）



【最終年度達成目標】

地域で活躍するために必要な力の基礎として、ジェネリックスキル（汎用的技能）を措定。河合塾・リアセックによる客観テスト「PROG」により計測し、その構成要素であるリテラシーとコンピテンシーのそれぞれの3年終了時の平均スコア4.0以上（レベル7が最高）を目標として設定。

入学後からのコンピテンシー（人間力）の成長



※現2年生のPROGテスト(河合塾・リアセック)の受験結果
(コンピテンシーの総合スコアで最大は7)

※コンピテンシーは対人・対自己・対課題によりよく向き合う力で経験に基づく行動特性 19

どのような成果が見られたのか？

- ✓ 本学の地域貢献を評価する県民の割合

2014
年度

26.9%

(182名回答)



2018
年度

55.0%

(191名回答)

- ✓ 大分市・豊後大野市以外の県内

2014
年度

14.3%

(35名回答)



2018
年度

33.3%

(18名回答)

地域連携をどう進めたのか？

- 2007年「人間力育成センター」創設以来、
地域貢献活動を各種外部団体と個別連携で実施
→ **学生**が地域で活動する意義（教育、社会貢献）
が**見える化**
- 2014年「学長室」の設立
→ **権限**の明確化、**方針**の一元化
- 2014年の文科省「大学COC事業」への申請に
当たって、3自治体（県、2市）に協力依頼
→ **採否にかかわらず**、連携を進める**覚悟と意向**

地域で教育？理工系の大学が地域連携？

COC事業を通じた連携強化

連携推進会議（実務担当）

- 毎年夏頃実施（ハイブリッド）
- 地域での各種取組報告を担当教員から分科会方式で発表
- 自治体担当者・協定機関から部局を超えて複数参加

外部評価委員会（部長級以上）

- 毎年度末に実施（ハイブリッド）
- 部長級、副市長が出席
- 成果報告、学生発表、次年度に向けた協議



文科省補助事業終了後も継続して実施

おおいた地域連携 プラットフォーム における本学の役割

人口減少に対応するべく、産学官が
協働（オール大分）で大分県の
人的資産（地域資産）の
最大化と有効活用を図る

学び、働きたくなる、
活気あふれるまちへ。

おおいた地域連携プラットフォーム

副会長

採用支援

進学促進

事業推進本部

地域活動

自治体

大分県

官

地域交流・課題検討部会

県内における人的資産を有効活用し、
地域の課題解決の検討・実施を行う部会

シンポジウム

協働事務
局副局長

リカレント教育

3つの部会が事業推進における
中心的役割を担っています

学

教育プログラム開発部会

県内における人的資産の能力向上手段を
検討し開発する部会

部会長

経済
団体

企業

産

地域人材創出部会

県内に必要な人的資産の確保（採用・育成・
起業家）について検討・実施を行う部会

就職イベント

人材育成

高等
教育
機関

協働機関 (全62機関：令和6年4月1日時点)

高等教育機関
(学校コード順)

大分大学 大分県立看護科学大学 日本文理大学 別府大学 立命館アジア太平洋大学 大分県立芸術文化短期大学 大分短期大学 東九州短期大学 別府溝部学園短期大学 別府大学短期大学部 大分工業高等専門学校 放送大学大分学習センター

国機関

大分労働局

地方公共団体
(市町村コード順)

大分県 大分市 別府市 中津市 日田市 佐伯市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後高田市 杵築市 宇佐市 豊後大野市 由布市 国東市 姫島村 日出町 九重町 玖珠町 大分県教育委員会 大分県産業創造機構 大分県立工科短期大学校（大分県）

経済団体

大分県商工会議所連合会 大分県商工会連合会 大分県中小企業団体中央会 大分県経営者協会 大分経済同友会 大分県中小企業家同友会

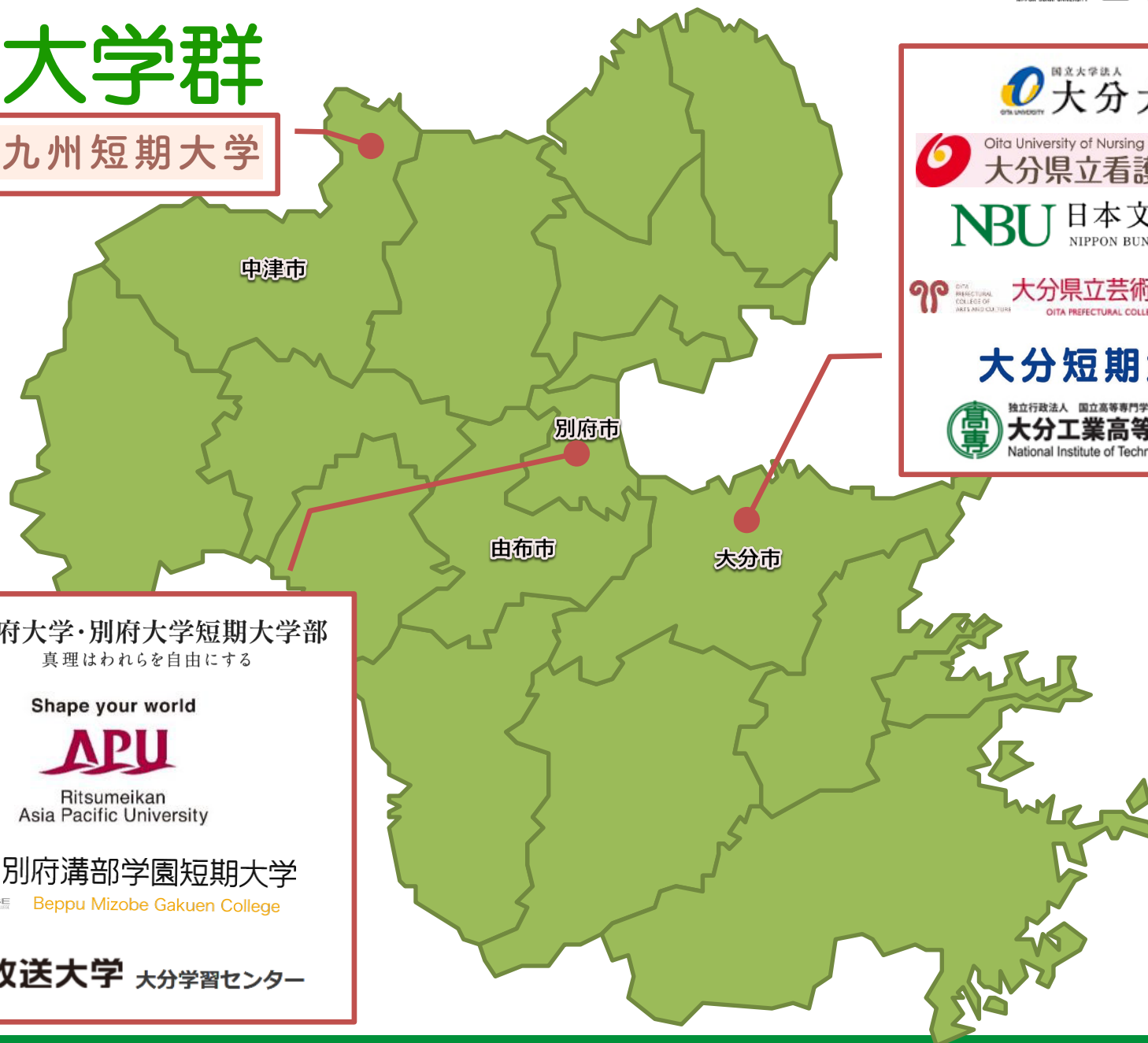
連携企業等
(五十音順)

(株)オーイーシー (株)大分銀行 大分県信用組合 大分交通(株) (有)大分合同新聞社 (株)大分放送 大分信用金庫 大分みらい信用金庫 (株)オーシー 九州電力(株)大分支店 三和酒類(株) (株)佐伯コミュニケーションズ 社会福祉法人新友会、(株)地域科学研究所 (株)テレビ大分 東京海上日動火災保険(株)大分支店 (株)トキハ 日本政策金融公庫大分支店 (株)豊後企画集団 (株)豊和銀行 柳井電機工業(株)

“オールおおいた” で高度人材育成や地域活性化

県内大学群

 東九州短期大学



 国立大学法人
大分大学


 Oita University of Nursing and Health Sciences
大分県立看護科学大学

NBU 日本文理大学
NIPPON BUNRI UNIVERSITY

 OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
大分県立芸術文化短期大学

大分短期大学

 独立行政法人 国立高等専門学校機構
大分工業高等専門学校
National Institute of Technology, Oita College

 別府大学・別府大学短期大学部
真理はわれらを自由にする

Shape your world

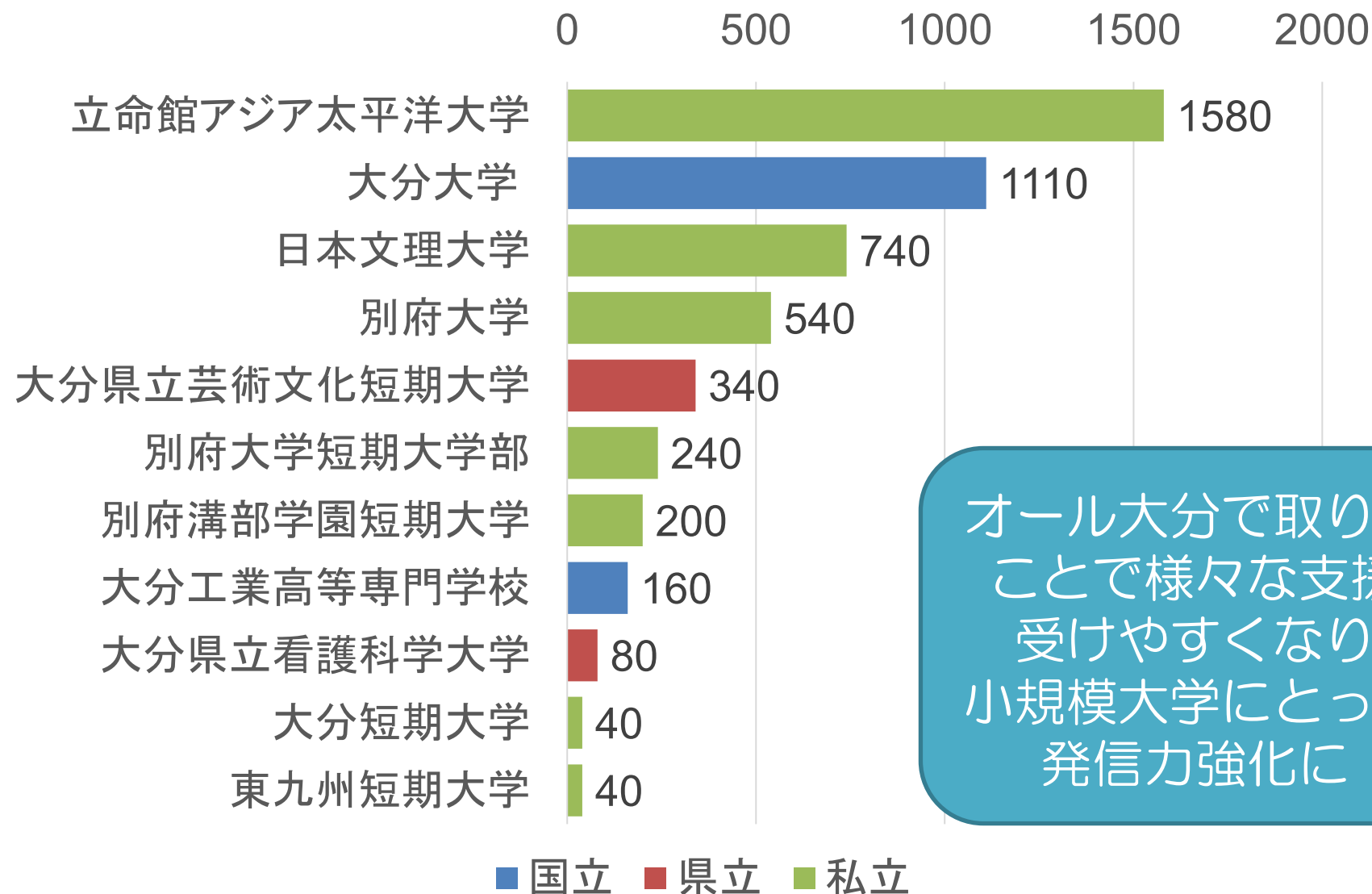
APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

 別府溝部学園短期大学
Beppu Mizobe Gakuen College

 放送大学 大分学習センター

入学定員別に見た各大学の規模



主な取組内容

地域交流・課題検討部会

研究機能を活用した 地域課題解決



県や市町村、産業界が提供する地域課題に対して大学等の「知」を活用し、解決に向けて産学官連携による活動を行います。

教育プログラム開発部会

生涯学習支援事業 「豊の国学リレー講座」



県内大学等が連携して、地域の歴史・地理・産業・人物等について学ぶ授業や企業が求めるスキル等を習得する授業の実施を行います。

地域人材創出部会

県内定着率（進学・就職） 向上の取り組み



県内の企業や自治体に参加できる事業を産学官連携で実施することにより、学生との「出会いの場」を提供しています。

地域交流・課題検討部会

学生による地域貢献



「実践型地域活動事業」を通して、学生が地域に足を運び、地域住民や企業と一緒に課題解決を行います。

教育プログラム開発部会

教育プログラムの充実 「大分の地域ブランド創造体験」



複数大学等で協働開発した授業です。地域ブランドを掘り起こす力と企画力を育成し、「地方創生」ができる人材の育成を目指しています。

地域人材創出部会

進学率向上に向けた 高大接続の取り組み



県内大学等による学生の研究成果を高校生に提示することにより、県内進学を促進を図っています。

事業運営
事務局

県内産学官連携による人材育成のきっかけ

2015年度スタート

2017年度に拡張

地域と企業の心に響く若者育成プログラムと大分豊じょう化プラン

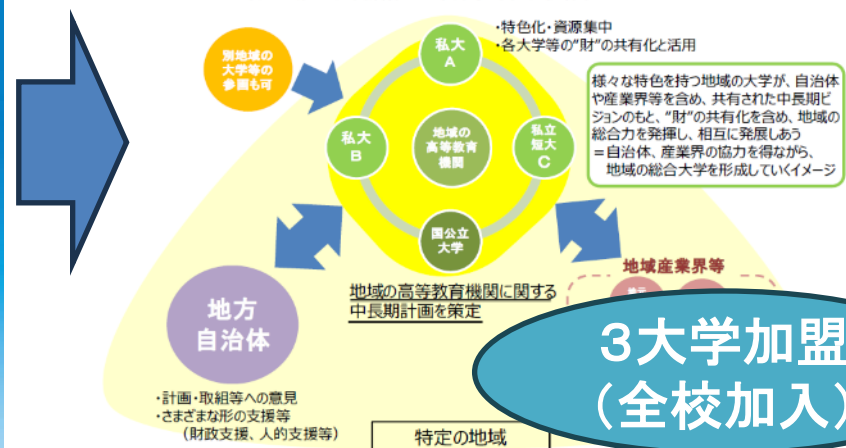
地(知)の拠点大学による 地方創生推進事業(COC+)

創造するまち・企業を！
地域を照らす若者を！
ともに創ろう

8大学
連携

【タイプ5】プラットフォームの構成（イメージ）

プラットフォーム＝特定の地域における高等教育の活性化を目的として形成された、高等教育機関及び、当該地域の地方自治体や産業界等を含む連携体制。



地方創生に向けた

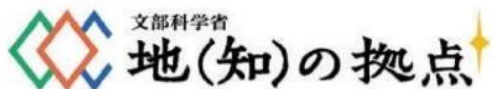
- ・ 地域で活躍できる若者の育成
- ・ 若者に魅力のある就職先の創出
- ・ 高等教育の活性化 等



文部科学省
地(知)の拠点

大学等による「おおいた創生」推進協議会

県内大学連携組織が2021年度パワーアップ！



大学等による「おおいた創生」推進協議会

大学群 教育プログラム開発

「大分を創る」科目群の構築・実施(地域志向科目、単

協働事業

シーズとニーズの マッチング促進

- 地域連携コンソーシアム等と連携
- 合同研究成果発表会
- 共同・受託研究の促進

インターンシップ フィールドワークの充実

- 利益共有型中長期インターンシップ
- インターンシップフェア
- 農山漁村現場体験学習

県内企業と学生の マッチング促進

- シゴト発見フェスタ
- 魅力発見セミナー
- 大分労働局と連携

一部加盟
大学が異なる



学と学の連携による知の総合交流拠点

大分高等教育協議会

地域の

教育力・文化力・研究力の向上を図り

育ける高度人材育成及び地域の発展に貢献することを目指します。



組織統合

おおいた地域連携プラットフォーム

大学群

地方公共
団体等

経済団体

国機関等

関係団体

連携企業等

オール大分

2024年度 実施事業一覧

大学等の教員が企画し、学生と共に地域に直接出向き、地域課題等の解決を図る事業活動を通じて学生が地域課題に気づくこと、課題解決を図ることで地域に貢献すること、学生との交流を通じて地域が活性化すること、また、学生の地域への愛着を深めることをねらいとしています。

県内各地域においてバランスよく活動が展開されるよう、大分市・別府市以外の地域を対象とした「地域枠」(No.1～10)と大分市・別府市を含む県内全域を対象とした「自由枠」(No.11～21)を設けています。

No.	大学名	代 表 者	事 業 名	実施地域	頁
19	別府大学	文学部 教授 渡辺 智恵美	地域文化財と大学博物館を活用した人材育成 ～小生を中心とした地域の歴史探訪と修養教室を通して～	別府市	25
20	別府大学 短期大学部	食物栄養科 准教授 浜野 香奈	～گانザイバーの“食べたい”を叶えるメニュー提案～ Cocoro Support Project	別府市 日出町	26
21	立命館アジア 太平洋大学	サステイナビリティ専攻 教授 須藤 啓徳	亀川商店街再活性化計画策定事業（Ⅳ）	別府市 (亀川商店街)	27

大分県、県内市町村、企業等と県内高等教育機関の連携による地域課題解決事業

大分県、県内市町村、企業等との連携により、「地(知)の拠点」としての大学等(大学、短大、高専)が持つ研究開発機能やシンクタンク機能を活用し、教育や産業振興、医療・福祉の充実、地域活性化など多様な地域課題に対応する事業です。

No.	大学名	表 者	事 業 名	実施地域	頁
22	立命館アジア太平洋大学	グステイナポリタナ「観光学部教授 メイラム/フ・セリク 国際経営学部 教授 藤本 武士	eスポーツを活用した「通いの場」の魅力向上事業	大分県	28
23	大分大学	医学部 助教 平野 直樹 護 理 部 教 師 後藤 疾樹	小児慢性特定疾病児童等の成人移行支援	大分県	29
24	大分工業高等専門学校	一般科 准教授 Tomek Ziemba	外国語対応ガイド等観光人材の養成	大分県	30

No.	市町村名	大学等名	代 表 者	事業概要	頁
28	中津市	大分県立芸術文化短期大学	芸術系学科 遠 田 秋雄 淳志	地元就職に向けた冊子・説明会等の企画 ・就職希望者向けなど、よりよい社会の発展を、市内企業も連携し、企業の実践力とする	一
29	中津市	府南清師学園短期大学	食料栄養学科 渡辺 安達 美和子 看護学科 江島 陽子	青の洞門周辺を基軸とした本耶馬溪の観光振興 ・毎年日本酒蔵元及び青の洞門蔵元等に協賛し、本蔵元及び中津・耶馬溪の観光資源と連携し、観光客の誘客と観光振興の協力体制を構築し、より魅力的な観光に繋ぐことで、本蔵元及び観光消費地の活性化につなげる	31
		日本文理大学	工芸学部 教授 吉村 亮功	一	一
30	竹田市	別府大学短期大学部	初等教育科 教授 大田 亜起	小中学校の英語教育支援 ・小中学校英語授業力向上研修における講師	一
31	竹田市	大分大学	教育学部 准教授 村上 佑介	プロゼンメンタリズム技術習得 ・メンタリズム技術を学ぶ人達を市内で育成し、指導を受けた人が継続して学習・提供している仕組みをつくること、事業実施に研修費を免除 ・「習得型」で職業訓練を学ぶ学生の確保	32
32	杵築市	別府大学	文学部 准教授 福西 大輔	杵築市の民謡振興調査の実施と地域計画への活用 ・杵築市大分県地域づくり推進事業・杵築市の伝統文化調査事業 ・民謡地域の振興調査を実施することで、学生による調査内容の他、民謡曲を鑑賞	一
33	宇佐市	別府大学	国際経営学部 教授 高木 正史	地域コミュニティ協会の自主研修環境支援 ・各協会の自主研修に必要となる人材・施設などの提供や支援を行っているが、今後の発展・定常的な運営のための自主研修環境の充実に支援していく、研修費を免除	一
34	宇佐市	おおい地域連携プラットフォーム	コーディネーター 和田 智雄	移住定住動画作成プログラム事業 ・移住定住を呼びかけたり、動画コンテンツで学生の就職体験を通じて、伝達	33
35	豊後大野市	日本文理大学	保健医療学部 准教授 小野寺 博和	地域の竹山整備と竹活用事業のさらなる自主財源の確保に向けて ※「社会と自然共有教育推進の機運による地域問題解決策」により実施	34
36	由布市	大分大学	産業経営連携センター 准教授 小川 慎一 経済学部 准教授 林 勇樹	ゴミの減量 ・減量率向上に貢献できる可能性を高め、ゴミ減量目標の達成をめぐるもの。他、削減率に対して、市町村と毎年度の目標値等についての分析を行い、中間報告を実施	一
37	国東市	大分大学	農学部 講師 諸保 理恵 (沼津短期大学) 講師 後橋 奈緒 (沼津短期大学)	ブロンズセブンスター農部の普及発展 ・「地域の宝」を継承・活用し、市民にブロンズセブスターの重要性を普及啓発（研修・市産・ホームラン・農家の事業継承、見学施設内「ナラシカ亭」等） ・地域の「ブロンズ」活用をうため、大学においてデータを蓄積するとともに、市と連携し農家と連携を推進	一
38	国東市	別府大学	国際経営学部 教授 阿部 博光	職員や市民に対するSDGsの普及啓発 ・市のSDG推進事業で学生がSDGワークショップ開催・発表	一

各大学で実践型地域活動を毎年展開！



2019年度より..



OPEN CAMPUS SCHEDULE

人文・社会系	理工・情報系	生物
13日(土)～大分県立芸術文化短期大学 全学開放(芸術系)	8日(土)～大分工業高等専門学校	
14日(日)～立命館アジア太平洋大学		
14日(日)～大分県立芸術文化短期大学 (芸術系・音楽系)		
15日(月)～別府大学 別府大学附属大学部		15日(月)～
	20日(土)～日本文理大学 (文芸部・メディア学部)	20日(土)～
21日(日)～日本文理大学	21日(日)～日本文理大学	21日(日)～
21日(日)～別府大学附属短期大学		21日(日)～
21日(日)～東九洲短期大学		
3日(土)～日本文理大学	3日(土)～日本文理大学	
4日(日)～立命館アジア太平洋大学		4日(日)～
4日(日)～別府大学附属短期大学		
9日(水)～大分大学	9日(水)～大分大学	9日(水)～

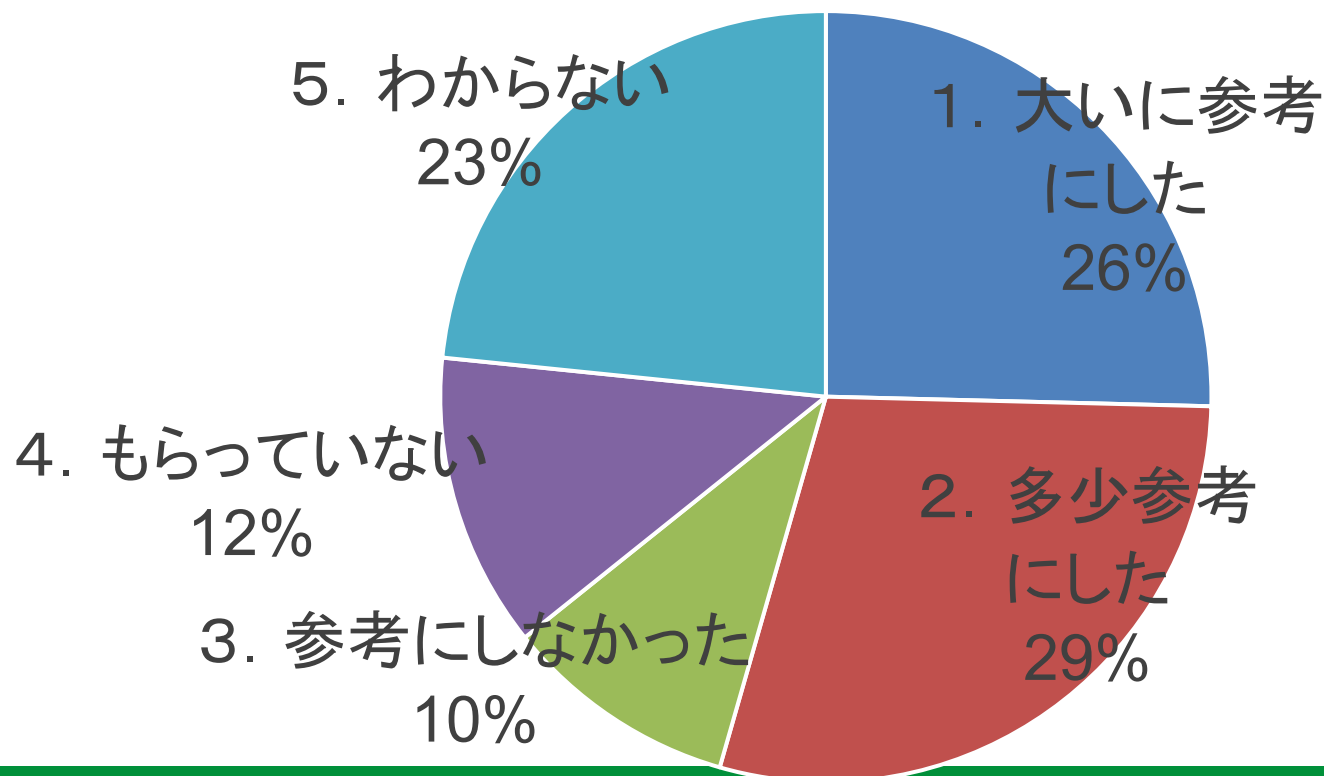


オープンキャンパスガイドは毎年6月に県内全高校生
進学ガイドは毎年2月に県内全1・2年生に配布
現在はWeb版で運用しチラシデータを配布

2019年度～2023年度は「進学者確保事業」として
県からどちらかに補助あり
現在は改革総合支援事業（プラットフォーム型）の
採択分を活用して本学が負担

オープンキャンパスガイド2023 の生徒の評価

Q. 今回のオープンキャンパスの参加にあたって、
高校で配布された「大分県オープンキャンパス
ガイド」を参考にしましたか。



55%の
生徒が
参考に！

N=3,075名

私立大学向けの補助



Oita Prefectural Government

大分県

令和5年度一般会計2月補正予算案(第4号)

大分県総務部財政課
令和6年2月26日

国の補正予算を受け入れるとともに、足下の価格高騰にも対応し、県経済の活性化等に取り組みます。併せて、事業執行に応じた所要の補正を行います。

(2) その他

(単位：千円)

事業名	予算案	事業の概要	所管課
11 新 私立大学物価高騰対策緊急支援事業	34,560	物価高騰の影響を受けている私立大学の運営継続を図るため、電気代等高騰分の一部を助成する。 ・対象施設 県内の私立大学・短期大学 ・支給額 在籍者一人当たり3,000円	政策企画課

R5年度補正で国の物価高騰対策を活用して
県内私立大学・短大への補助を実現！

- ・ 県担当課とのコネクションを活かして可能性や条件等の打診・交渉
- ・ 本学が県私立大学・短期大学協会の事務局を務める
- ・ 各校へのエビデンスの提出依頼

県知事との関係性

- 2023年4月に佐藤 樹一郎 知事が就任
(直前に大分市長を8年務める)
- 本学が当番校を務めた私大協 九州支部
2023年度 秋季総会 情報交換会に来賓出席
- 2024年度～ 本学入学式に来賓出席
- 2024年度～ 地域連携プラットフォーム 定時総会に出席



地方大学としての使命と連携強化に向けて

- 県議会政策研究会での橋本学長講演（未来にむけて 大分県の“知の総和”を考える）
2025/2/25
- 初等中等教育機関を巻き込んだ地域への教育プログラムの充実：2024年度は45件
- 幼少期からの郷土教育に地域の大学生が関わり続ける
- 今後も過疎高齢地域には一過性ではなく継続的に学生・大学が関わり続ける
- ミクロ的にはキャンパスが立地する地区は人口増加地域であり、広大なキャンパスを開放した地（知）の拠点として地域創生の牽引役に



まとめにかえて

- 人口減少が急激に進み、進学率が低い大分県にとって、**地域のリーダーとなれる大卒人材を輩出する本学は貴重**
- **地域は教育資源の宝庫**であり、多様な主体との越境学修は学生を大きく成長させる
- 地域や産業界と共に学生、教職員が**柔軟、機動的に汗をかけるのは私大の強み**
- **地域や地元産業界、高校等は大学教育の変化を大学関係者が思うほど知らない**（大学からの積極的な情報発信と企業側の教育への積極的な参画が必要）
- コロナ禍で地域や地元産業界との関わりが薄くなったことで学生の地域志向が若干低下するとともに、**オンライン就活で都会の企業が本学の人材の価値に気付いた**（学生の人生にとってはいいことかもしれないが県にとっては？）
- 地域や自治体、企業等とのコーディネートができる教職員の育成は課題

「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業

令和8年度要求・要望額

15億円
(新規)



● 背景・課題

- 急速な少子化が進行する中、学生募集停止が相次ぐなど地域の高等教育機関に困難が生じており、地元進学希望者の高等教育機会の確保や、地域の生活・産業基盤等に大きな影響が生じる恐れ。
- このため、2040年の社会を見据え、各地域の高等教育を取り巻く状況や課題、将来の人材需要等を共通認識し、地域関係者と一体となって具体的な取組につなげることが必要。
- 地域の高等教育機関単独での取組には限界があり、**地域にとって真に必要なかつ魅力ある高等教育機関へのアクセス確保**のため、**各地域の大学間・産学官金等間の連携推進方策**を講じる必要。

- 大学進学者数推計
(2024年) 約63万人⇒(2040年) **約46万人**
- 大学進学時の都道府県別流入・流出者
⇒(2024年) **38道県で流出超過**
(出典) 文部科学省調べ
- 若い世代が出身地域を離れた理由
⇒男女ともに、「**希望する進学先が少なかったら**」が**最多の理由** (出典) 内閣府調べ

2040年の社会を見据えつつ、地域の高等教育機関へのアクセス確保・人材育成を推進するため、各地域の施策展開に資するプラットフォームのモデル構築を実施

◆ 事業内容

- 地域の人材需給等を踏まえた高等教育機関における人材育成のあり方などについて、地域内の高等教育機関の長と地方公共団体の首長をはじめとした産学官金等の関係者が主体的かつ継続的に議論を行う協議体（**地域構想推進プラットフォーム**）を構築。
- 議論を行う協議体に配置される大学間・産学官連携の推進役となるコーディネーターを中心に、各地域の魅力的な高等教育機関づくりに関する取組を推進。
- 採択事業の参画機関（高等教育機関、地方公共団体等）と、文部科学省をはじめとする関係省庁との定期的な対話の機会を設け、モデル構築に向けた強力な伴走支援を実施。

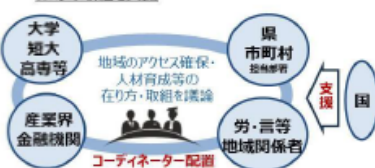
【事業期間】3年（令和8年度～令和10年度）

【件数・単価】10件×1.5億円程度

※モデル構築という性質を踏まえ、採択に当たっては事例の多様性についても考慮。

地域構想推進プラットフォーム

- ✓ 地域の将来ビジョンや大学等の研究・教育の構想・推進策を地域全体で情報共有・共通認識
- ✓ 大学等、地方公共団体、産業界等の地域関係者が一体となって、国と連携しながら地域のアクセス確保等の取組を支援



アウトプット（活動目標）

- モデル事業の採択数

短期アウトカム（成果目標）

- 目標値に達したKPI数/採択事業ごとに設定した全てのKPI目標数

長期アウトカム（成果目標）

- PFでの議論を踏まえて、地域アクセス確保や、地域において必要な人材育成に向けた取組を行う大学の数

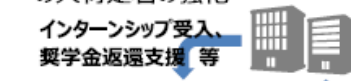
【プラットフォームでの議論を踏まえ期待される取組例】

- 地域の人材需給や産業構造のニーズ等や、高校教育改革と連動した教育組織・カリキュラムの変革



プラットフォームでの議論

- 高校段階から地域の高等教育機関への接続強化や、自治体等による就職支援等を通じた地域への人材定着の強化



インターンシップ受入、奨学金返還支援等



地方大学への進学

- 地元企業や金融機関、大学のリソース等を結集し、地域の強みを生かした新産業の創出



- 連携開設科目の設置にとどまらない、地域アクセス確保のための更なる教育研究の連携の実施



(担当：高等教育局大学振興課地域大学振興室)

ご清聴ありがとうございました

yoshimuramt@nbu.ac.jp



自己紹介

■ 吉村 充功（よしむら みつのり）

■ 福岡県北九州市出身

■ 1976年3月生まれ

■ 1994年 福岡県立戸畑高等学校 卒業

■ 1998年 広島大学 工学部 第四類
（建設系）卒業

■ 2003年 広島大学大学院 工学研究科
環境工学専攻 博士課程修了
【博士（工学）】

■ 2003年 日本文理大学 工学部
建設都市工学科 講師

■ 2006年 同 工学部 建設都市工学科
助教授

■ 2006年 同 基礎学力支援センター長

■ 2007年 同 人間力育成センター長

■ 2014年 同 工学部 建築学科 教授

■ 2014年 同 学長室長

■ 2017年 同 教育推進センター長

■ 2023年 同 副学長

【主な社会貢献】

＜現職＞

■ 公立大学法人大分県立看護科学大学 経営審議会 委員

■ 公益財団法人 大分県建設技術センター 理事

■ 大分県協働推進会議 会長

■ 大分県「安心・元気・未来創造ビジョン2024」
推進委員会 委員

■ 大分県立高等学校・中学校第三者評価委員会 委員

■ 大分県教育委員会「通学区域制度検証委員会」委員

■ 大分県広域交通ネットワークアドバイザー

■ 大分市 おおいた都心まちづくり会議 会長

■ 臼杵市総合計画審議会 会長

■ 竹田市都市計画審議会 会長

■ えひめ・おおいた交流事業実行委員会 委員 ほか多数

＜過去の役職＞

■ 公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター 理事

■ 日本リメディアル教育学会 理事

■ 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業委員会
審査部会 委員

■ 佐賀大学・西九州大学 大学COC事業
外部評価委員会 委員長

■ 大分県 安心・活力・発展プラン2015 推進委員会 委員

■ 大分県自転車活用推進有識者会議 委員長 ほか多数 41